



ひらがなしんぶん

あけまして おめでとう ございます



あたらしい とし ^{にせんじゅうろく} 2016ねん
が はじまりました。 みなさんに
おねがいがあります。 むずかし

い ことでは ありません。

ねるまえに、つぎに かいたことを、
すこと です。

ひとつ さが

- ① じぶんで おきて かおを あらい、はを みがいた。(よかった)
- ② ごはんを ちゃんと たべた。のこさず たべた。(おいしかった)
- ③ わすれものを しなかつた。(べんきょうが ちゃんと できた。うれしい)
- ④ うちの ひとに たのまれた ことを、わすれずに やった。(よかった)
- ⑤ みんなと なかよく あそべた。けんか しなかつた。(たのしかった)
- ⑥ しゅくだいを わすれずに やった。(よかった)
- ⑦ シャワーや ふろで、からだを きれいに した。(きもちが いい)
- ⑧ ともだちを たすけた。(きぶんが よかった)
- ⑨ あいさつが できた。(よかった)



まいにち じぶんを
じぶんで ほめてね。

ま いにち ねるまえに、「よかった。」「た
のしかった。」「うれしかった。」など、
きもちが よかったことを、ひとつ さがして く

ださい。 ^{いち} 1ねんかん つづけます。 あなたは
かならず、すばらしい こどもに なります。

は なさかじいさん (にほんの むかしばなし) この はなしの つづきは ^に 2がつごうで!

〈出典 ^{しゅつてん} 日本昔 ^{にほんむかし} ばなし ^{あにめ} アニメ絵本 ^{ながおかしよてん} はなさかじいさん 長岡書店〉

あるひ、おばあさんが かわで せんたくを して
いると、しろい いぬがのった はこが ながれて
きました。いぬは、さむくて ふるえて います。「か
わいそうに。」おばあさんは、いぬを いえに つれ
て かえりました。

★おじいさんが しごとから かえって きました。
おばあさんは、いぬの ことを はなしました。「し
ろ」という なまえに して、だいじに そだてる
ことに しました。

★あるひ、おじいさんが しごとを していました。
しろが おじいさんを、やまに つれて 行って、「こ
こ ほれ ワン ワン」と いいました。

★おじいさんが ほると、おかねが いっぱい でて
きました。びっくりしました。

★おばあさんも、はなしを きいて
びっくりしました。

「かみさまの おつかい かも
しれませんよ。」そこで、
おかねの つかいかたを かんがえました。「こまっ
ているひとに あげよう。」

★その はなしを、となりの よくばり ばあさんが
きいて、よくばり じいさんに はなしました。

★よくばりじいさんは しろを かりてきて、しろに
「おかねの あるところは どこか いえー」と
いいました。しろは なにも いいません。 かつて
に ほると、でてきたのは ごみばかりでした。ふた
りは、しろを ころしてしまいました。

★そして、やさしい じいさんに「しろは びょうき
で しんでしまった。おはかを つくって、きを う
えたよ。」と はなしました。

さあ どうなったでしょう (つづく)



すこ むずか はなし かんじ つか ひとあつ
少し難しい話になります。漢字も使います。がんばる人集まれ!

とくべつごう ぜんぶ おはなし にします。ここからは、昔話ではありません。体の話です。「なぜ？」と質問されても、答えられるようになる話です。

なんのはなし?



この話です。 まず質問です。

「どうしてトイレに行く？」答は
かんたんですね。「おしっこが出

たくなるから」「それだけ?」「うんちも出た

くなるから」「なぜ?」「なぜって?出たくなるから」「なぜ?」「なぜ?なぜ?そんなに聞かれてもわからない。」

①体<筋肉>は「タンパク質」をとらないと、増えたり修理したりすることは出来ません。タンパク質は、肉・牛乳・魚・卵・チーズ・豆などに入っています。

②タンパク質をとる時、「窒素」というものがが必要です。食べ物といっしょに体に入ってきます。

でも、食べ過ぎると余ってしまい、毒に変わってしまいます。急いで捨てないと大変です。

③体は急いで、「尿素」というものに変えて、ほかの必要のないものと一緒に、水に溶かして体から出します。「わかった?」そうです。それが「おしっこ」です。

今度は「**うんちの話**」です。みんなの体の中に親指くらいの太さで、長さは5~6メートルくらいあるホースのような小腸があります。そこで、食べた物は、かみ切れない「せんい」というものに助けられて、「えいよう」にかわります。うんちは、いらなくなった「せ



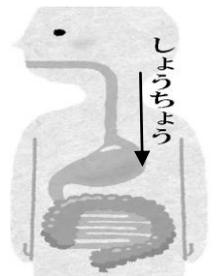
んい」です。もう一つ、血の中に、頭や体を動かす「さんそ」を運ぶ「赤血球(血が赤いわけ)」があります。古くなったものを捨てる仕事をしています。古くなると「黄色」になります。だから、うんちは黄色です。

みんなの体は、死ぬまでいろいろな仕事をしてくれます。何でも食べなさい。好き嫌いを言っただめです。病気をしないように気をつけなさい。と言われる理由が分かりましたか?

つづ **続いて びっくり話 ちゃんとうんちが出る子は頭が良くなる?**

みんなのお腹の中には、食べた物から栄養を取り出す「腸内菌」という働き者がいます。食べ物の中から、体を動かす・頭の働きをよくする・筋肉を作る・ばい菌をやっつけるなど、良いことをしてくれる物を集めてくれます。でも、いらなくなった物は、どんどん捨てなけれ

ばなりません。それが「うんち」です。でも、体を動かさないと、お腹の中で「腸内菌」が働いてくれません。食べて運動しないと、頭の働きをよくする栄養を運んでくれません。





にほんご ペラペラみかわべん
これも日本語 ペラペラ三河弁

「今年の冬はあつたかいなあ。お稲荷さんどにぎやかかった。」
 「だけど、あんまりあつたかいと、正月気分でありやせんらあ。」
 「でもさあ、雨が降らんでよかつた。どつかへ行つた？」
 「どっこも行きやあせんよお。車がすごいもん。前、いっぺん出かけたことあるけど、帰りにどえらい目にあつちやつたことがあつてさあ。うちがそこにあつても、入ってて道が車でいっばいだもん、入れりやせんじやん。」

普通の言葉に直します。
 ◆◆◆
 「今年の冬はあたたかいね。お稲荷さんは、とてもにぎやかだった。」
 「けれども、あまりあたたかいと正月気分になれないね。」
 「でもね、雨が降らなくてよかつたね。どっこへ行つた？」
 「どこへも行かないよ。車がたくさんだから。前に、一度、出かけたことがあるけれど、帰りに、とても大変なことになったことがあつてね。うちが、そこにあつても、入っていく道が車でいっばいだから、入ることが出来なかつた。」

三河弁が話せると、豊川や豊橋・新城の人の話のことが、よく分かります。大笑いすると、何が面白いかわかります。皆さんも、自分の国の言葉で話すとき、



うれしくなったり、楽しくなったりすると、大きな声で早く話します。日本人と仲良くなつて欲しいので、難しいですが、三河弁を覚えてほしいなあ。

日本の文化 ずっと前に「ひらがな新聞に書いて欲しいことがあつたら、教えてください」とお願いしました。日本の文化について説明し

てください、という注文（説明をしてください）がありました。そこで、1月の文化・2月の文化と順番に説明しようと思つています。

はつもうで
初詣（はつもうで）

1月1日。お寺・神社へ行って、仏様・神様に「今年も家族を守ってください」とお願いします。



これは神社です。ここには「とりい」というものがあります。人形のような神様はいません。



これはお寺です。ここには「とりい」はありません。「山門」があります。仏さま（キリストのようにいろいろおしえてくれるえらい人）が見られます。



雑煮を食べる 良いことが続きますように……昔、12月31

日、神様に1年間守ってくれたお礼にご馳走をあげました。おまいの後、それを家族で食べました。けれども、必ず、残しました。食べ物

は食べられないくらい、たくさんあつたことを、神様に見てもらつたためです。正月の朝、それに、お餅や野菜や魚など、いろいろいれて食べたのが、雑煮の始まりです。餅は、良いことがずっと続くよつという気持ちを表しています。

2月号からは、今までのような新聞にします。



Kodomoga sensei no Nihongo kyooshitsu desu.

こどもが せんせい の にほんご きょうしつ です。



Kyoowa domna benkyoo wo shiyookana?
きょうは どんな べんきょう を しようかな？



Sooda nihonno chiisai kono hanashiwo kakoo.
★ そうだ にほんの ちいさい この はなしを かこう。
Nihomjimwa minna waraimasu. Naniga omoshiroika wakaruto ureshii
にほんじんは みんな わらいます。 なにが おもしろいか わかると うれしい
desu.
です。



(1) Roku sai no omnana kono hanashi.

6さい の おんなの この はなし。

Namno nikuga ichibam suki? Buta niku. Tori niku. Gyu niku. NIMNIKU.

「なんの にくが いちばん すき？」 「ぶた にく。とり にく。ぎゅう にく。にんにく。」

(2) Yonsai no otokono kono hanashi.

4さい の おとこの この はなし。

Mikan wo kazoete imasu. Hitotsu Futatsu Mittsu Yottsu GOTTSU.

みかんを かぞえて います。「ひとつ ふたつ みつつ よつつ ごつつ。」

(3) Nisai no otokono kono hanashi.

2さい の おとこの この はなし。

Gomiwo atssmeru kurumaga tootta.
ごみを あつめる くるまが とおった。

Magarimasukara gojuuem kudasai to itteiruyo.

「まがりますから ごじゅうえん ください と いうているよ。」

Gochuui kudasai. datta.

「ごちゅうい ください。」だった。

Migie magarimasu
みぎへ まがります。
gojuuem kudasai !!
ごじゅうえん ください !!



(4) Rokusai no otokono kono hanashi.

6さい の おとこの この はなし。

Namde mewa futatsunanoni, hitotsuni mieru?

しゅってん 出典 「ママ あのね」あさひぶんこ 朝日文庫

なんで めは ふたつなのに、ひとつに みえる？



★ Iroirona machigaiga arimasu.

いろいろな まちがいがあります。

Kikichigai = machigatte kiiteshimau. Itta ⇨ kitta gamu ⇨ kamu

ききちがい まちがって きいてしまう。 いった きった ガム かむ

Mimachigai=tomodachidato omotte yomdara, yokunita hitodatta.

みまちがい ともだちだと おもって よんだら、 よくにた ひとだった。